

平成 22 年 11 月 吉日

関係各位

東京大学空間情報科学研究センター
センター長 浅見泰司

2010年度 東京大学 空間情報科学研究センター 全国共同利用研究発表大会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当センターの活動にご高配賜り、誠にありがとうございます。

さて、当センターでは 2010 年度の全国共同利用研究発表大会 (CSIS DAYS 2010) を 2010 年 11 月 11 日～12 日の 2 日間、本学柏キャンパスにて開催することになりました。皆様方には是非ともご参加いただきたく、ここにご案内差し上げる次第です。

本研究発表大会では、CSIS との共同研究の発表、および一般公募による研究発表が行われます。空間情報科学に関する研究の成果を広く知っていただき、産官学の連携を促進する研究交流の活発な場に発展することを期待しております。CSIS DAYS は、空間情報科学の先端的研究を、多くの参加者と共有できる点で有意義であり、またオフラインでの研究者ネットワークを作る場としても機能してきました。

大会の枠組みは、4 回のポスターセッション (各 45 分間) を基本としますが、各セッションの前に、ポスターの概要を 5 分間で口頭発表する時間も用意いたします。一般に、ご発表の皆様は、ポスターも概要発表も大変準備が良く、学術関係者だけでなく、民間の方々にとっても、最新の学術研究を効率良く吸収する場として好評を博しております。

つきましては、下記のシンポジウム開催要領、プログラム、研究アブストラクト (PDF) をご確認の上、参加をご検討いただければ幸いです。

末筆ながら、皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

敬 具

記

東京大学 空間情報科学研究センター 全国共同利用研究発表大会
CSIS DAYS 2010 開催要領

日時: 2010年11月11日 (木) 12:30～17:10 懇談会 17:30～19:30
12日 (金) 10:00～15:45 (拠点校会議 [非公開] 12:20～13:20, 630号室)
受付開始時間は、11日が12:00、12日が9:30です。
場所: 東京大学 柏キャンパス 総合研究棟6階 大会議室
地図 http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/about_csis/location.html
当センターのある建物の6階が会場となります。
参加費: 無料 (事前受付はいたしません。当日、直接会場へお越しください。)
(懇談会参加費: 1,000円)
URL: <http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/csisdays2010/program.html> (アブストラクト(PDF)閲覧可)

(お問合せ先) 東京大学 空間情報科学研究センター
CSIS DAYS 2010 受付係
E-mail: csisdays10office@csis.u-tokyo.ac.jp

以 上

2010年11月11日(木): 初日のプログラム

— CSIS DAYS 2010 —

- 12:00 ~ 一般受付開始・ポスター貼付開始
12:30 ~ 12:35 開会の挨拶 (センター長 浅見泰司)
12:35 ~ 13:55 発表(A) 一人5分 14件 【A: 防災・環境】(司会:小口高)
13:55 ~ 14:40 ポスター展示
14:40 ~ 14:45 ポスター撤収
14:40 ~ 15:00 休憩
14:45 ~ 15:00 ポスター貼り付け
15:00 ~ 16:20 発表(B) 一人5分 14件 【B: 地理学・都市解析】(司会:浅見泰司)
16:20 ~ 17:05 ポスター展示
17:05 ~ 17:10 初日の締めの挨拶
17:10 ~ ポスター撤収, 移動
17:30 ~ 19:30 懇談会(柏キャンパス内 カフェテリア) ※参加費 1000円

2010年11月12日(金): 2日目のプログラム

— CSIS DAYS 2010 —

- 9:30 ~ 一般受付開始・ポスター貼り付け開始
10:00 ~ 11:25 発表(C) 一人5分 15件 【C: 土地利用・人口・モビリティ・防犯】(司会:柴崎亮介)
11:25 ~ 12:10 ポスター展示
12:10 ~ 12:30 ポスター撤収
12:10 ~ 13:30 ランチタイム (拠点校会議 [非公開] 12:20 ~ 13:20, 6F 630号室)
12:30 ~ 13:30 ポスター貼り付け開始
13:30 ~ 14:55 発表(D) 一人5分 15件 【D: G空間IT・Open Source Software】(司会:瀬崎薫)
14:55 ~ 15:40 ポスター展示
15:40 ~ 15:45 閉会の挨拶
15:45 ~ ポスター撤収
-

「全国共同利用研究発表大会」セッションの発表リスト

〔11 日午後 12:35-14:40〕

【セッション A: 防災・環境】

- (A01) ALOS/PALSAR 干渉画像による地すべり抽出に関する研究, 岡谷隆基, 佐藤浩, 鈴木啓, 関口辰夫, 小荒井衛, 中埜貴元(国土地理院)
- (A02) 北海道地すべり地形 GIS マップを用いた地すべり発生危険度評価, 土志田正二(防災科学技術研究所/CSIS), 山岸宏光(愛媛大学)
- (A03) 地震動をトリガーとしたマスマーブメントの発生と地形条件の関係 - 岩手宮城内陸地震・能登半島地震・中越地震の事例解析 -, 守屋則孝(石川県庁), 須貝俊彦(東京大学)
- (A04) 自主防災組織レベルでの災害時住民避難支援システム構築と運用の可能性, 有馬昌宏(兵庫県立大学)
- (A05) 土砂災害モニタリングシステム(SWING system)の構築 - リアルタイムデータと2種類の降雨イベントの特徴を活用して -, 齋藤仁(首都大学東京), 福本壘(ハイテックス/NPO 法人オープンコンシェルジュ), 中山大地, 泉岳樹, 松山洋(首都大学東京)
- (A06) 集中豪雨の被害軽減からみた空閑地の分類とその活用方策 - 都市縮退と自然環境との関係性の調査結果を踏まえて -, 保科宇秀, 横張真(東京大学)
- (A07) 粗放型薄層屋上緑化用貯排水ボードの設置による地区内雨水流出抑制効果の試算, 菊池佐智子, 輿水肇(明治大学)
- (A08) 滞在型市民農園の費用対効果分析, 後澤慧(平成建設), 牧山正男(茨城大学), 高橋孝明(CSIS)
- (A09) コンクリート系材料の資源循環における地理的要因に関連する環境評価, 三谷卓摩, 山岸英輝, 北垣亮馬, 長井宏憲(東京大学), 岩田彩子, 兼松学(東京理科大学), 藤本郷史(広島大学), 野口貴文(東京大学)
- (A10) 低炭素社会を目指した CO2 固定容量の試算と GIS の活用に関する研究 - 日本の都道府県単位および長野県での 3D・GIS 解析 -, 大西文秀(竹中工務店)
- (A11) 東京大学千葉演習林におけるスギ高齢林の地位評価, 丹下健, 葛鋒, 益守真也(東京大学)
- (A12) 江戸時代における石見銀山領の森林景観, 藤井彩, 米康充, 高橋絵里奈, 小池浩一郎(島根大学)
- (A13) 海岸線・波浪データに基づく沿岸の風波指標作成とその指標性 - 全国スケールのデータセットの作成と藻場分布データとの比較 -, 山北剛久, 滝久智, 岡部貴美子(森林総合研究所)
- (A14) トンボの産卵生態と生息地選択との関係, 宮崎哲至(横浜市立大学)

〔11 日午後 15:00-17:05〕

【セッション B: 地理学・都市解析】

- (B01) 扇状地とその上流域における地形特性値間の関係の分析, 落合翔(東京大学), 小口高, 早川裕弐(CSIS)
- (B02) 有珠火山・善光寺岩層なだれの流れ山地形の特徴 - 細密な数値標高データを用いた検討 - 吉田英嗣(関東学院大学), 早川裕弐(CSIS)
- (B03) GIS と高精度センシング技術の活用によるオマーン青銅器時代遺跡群の空間構造の研究, 近藤康久(東京大学)
- (B04) 福岡市史編集における新旧地理情報の比較, 磯望(西南学院大学), 黒木貴一(福岡教育大学), 宗建郎, 黒田圭介(西南学院大学), 後藤健介(長崎大学)
- (B05) Space Syntax 理論を用いた都市形成過程に関する研究 - 今治市中心市街地の都市形態分析 -, 佐藤美緒, 伊藤香織(東京理科大学)
- (B06) 米国カリフォルニア州における低出生体重リスクに関する時空間分析, 山田育穂(CSIS)
- (B07) 大手百貨店における全国展開成立時期の検証, 後藤寛(横浜市立大学)
- (B08) ドラッグストアチェーン「コスモス薬品」の店舗の立地分析, 西峯洋平, 松山洋(首都大学東京)
- (B09) Web ベースの市区町村区域データ出力ツールの開発 - MMM (Municipality Map Maker) for Web -, 桐村喬, 中谷友樹, 矢野桂司(立命館大学)
- (B10) 東京大都市圏の職業構成の空間的パターン - 地域メッシュ統計と空間的自己相関指標を用いた定量的把握 -, 小泉諒(首都大学東京)
- (B11) 居住形態からみた東京 23 区における超高齢化地区の類型分析 - 5 次メッシュデータを活用して -, 田中耕市(徳島大学)
- (B12) 地区計画・建築協定の規制が戸建住宅価格に及ぼす影響, 谷下雅義, 大澤亮平(中央大学), 清水千弘(麗澤大学), 長谷川貴陽史(首都大学東京)
- (B13) 市街地におけるグラフィティの分布と特性, 布川悠介, 伊藤史子(首都大学東京)
- (B14) 「地理情報科学の知識体系」と大学における地理情報科学教育 - 東京大学空間情報科学研究センターの講義を例に -, 湯田ミノリ(CSIS)

〔12 日午前 10:00-12:10〕

【セッション C: 土地利用・人口・モビリティ・防犯】

- (C01) Land Cover Change Modeling in Kathmandu, Nepal, Rajesh Bahadur Thapa, Yuji Murayama (University of Tsukuba)

- (C02) Land Cover Change Detection for Dzalanyama Forest Reserve, Lilongwe, Malawi, Kondwani Godwin Munthali, Yuji Murayama (University of Tsukuba)
- (C03) Detecting and Analyzing Land Use/Cover Changes in a Hill Station: A case study in Baguio City, Philippines, Ronald C. Estoque, Yuji Murayama (University of Tsukuba)
- (C04) 既存のデータを用いた土地利用データの主題属性精度評価と評価手法の検討, 花島裕樹(筑波大学)
- (C05) 時空間データセットを用いた TX 沿線の土地利用変化の特徴 — つくば市 TX 研究学園駅周辺の事例 —, 小荒井衛, 中埜貴元(国土地理院)
- (C06) 電話帳データを用いた DMSP/OLS の都市光の分析, 仙石裕明(東京大学), 秋山祐樹, 柴崎亮介(CSIS)
- (C07) 土地利用モデルを用いた都市気候モデルへの入力変数の算出方法の検討, 山形与志樹, 中道久美子, 瀬谷創(国立環境研究所)
- (C08) 滞留人口を用いた商圈分析モデルのための検討, 鈴木英之(ファイブ・アナリシス), 関本義秀(CSIS)
- (C09) トップダウンアプローチを用いた複雑な移動軌跡パターンの検出, 神野良太, 上原邦昭(神戸大学)
- (C10) 東京都心部における駅間アクセシビリティ評価と基幹的バス路線導入に関する研究, 小塚琢也, 原田昇, 大森宣暁, 高見淳史(東京大学)
- (C11) エコルート走行による自動車燃料消費量の削減に関する研究 — 道路縦断勾配を考慮した瞬間燃費モデルを用いて — 李勇鶴, 佐藤俊明(パスコ), 岡部篤行(青山学院大学)
- (C12) Population Density, Call-response Interval, and Survival of Out-of-hospital Cardiac Arrest, Hideo Yasunaga, Hiromasa Horiguchi (The University of Tokyo)
- (C13) 交通事故発生地点における道路環境からの要因分析と事故発生抑制の研究 — 神奈川県における高速自動車国道を事例として —, 森山育幸(横浜市立大学)
- (C14) 子どもの空間行動シミュレーションシステムの開発, 菊池城治, 雨宮護, 齊藤知範, 島田貴仁, 原田豊(科学警察研究所)
- (C15) 地理情報システムを用いた社会関係資本による犯罪抑制効果の検討, 高木大資(東京大学), 小林哲郎(国立情報学研究所), 針原素子(東北大学)
- [12 日午後 13:30-15:40]
- 【D: G空間 IT・オープンソースソフトウェア】**
- (D01) HTML5 を用いた地球地図ビューアの開発, 松山克胤, 岡本誠(ほこだて未来大学)
- (D02) Towards the Development of Smart Phone Based Earthquake Awareness System: An Integration of Location Information, Numerical Simulation and Augmented Reality, Subas Chhatkuli, Yonghe Li, Toshiaki Satoh (PASCO)
- (D03) 観光 AR の有効性および開発に関する研究, 廣田智久, 徳永光晴(金沢工業大学)
- (D04) ユーザ投稿写真による動的ストリート画像フロー生成機構の設計, 石塚宏紀(CSIS), 木實新一, 戸辺義人(東京電機大学), 瀬崎薫(CSIS)
- (D05) UAV(Unmanned Aerial Vehicle)による簡易空撮の可能性 — 上信越高原国立公園鹿沢地区を事例に —, 古橋大地(CSIS)
- (D06) 衛星画像によるインターネット 3 次元計測システムの開発, 野中秀樹, 土居原健, 本間亮平(アジア航測)
- (D07) 鉄道網における障害情報配信手法の問題分析, 岡田和也(奈良先端科学技術大学院大学), 横山輝明(サイバー大学), 門林雄基, 山口英(奈良先端科学技術大学院大学)
- (D08) アクセス系集線の配備コスト最小化設計技術, 中山悠(NTT)
- (D09) Centralized Geo-database and Mobile Field Data Collection: An Introduction of Student Field Survey Project, Ko Ko Lwin, Yuji Murayama (University of Tsukuba)
- (D10) FOSS4G を利用した水環境調査ツールの運用簡易性に関する研究 — 水環境分野における Open Café System(OCS)の適用事例 —, 福本壘(NPO 法人 オープンコンシェルジュ/ハイテックス), 岡内俊太郎(共立理化学研究所), 中村和彦, 中山悠(NPO 法人 オープンコンシェルジュ), 古橋大地(CSIS), 菊池風奈, 白髭拓也, 原昇平(ハイテックス), 風間ふたば(山梨大学)
- (D11) Open Café System: 自然環境分野における FOSS4G パッケージの開発と適用, 中村和彦, 福本壘(NPO 法人 オープンコンシェルジュ), 齋藤仁(首都大学東京), 中山悠(NPO 法人 オープンコンシェルジュ)
- (D12) オープンソースの配送経路探索プラットフォーム OpenVRP について — An Approach for Individual Public Transportation —, 関治之(Georepublic Japan)
- (D13) 近道となる道順選択と地図表示 — pgRouting を利用した経路探索とその可能性 —, 杉浦史門, 中村和彦(NPO 法人 オープンコンシェルジュ), 齋藤仁(首都大学東京), 福本壘, 中山悠(NPO 法人 オープンコンシェルジュ)
- (D14) FOSS4G を活用した既存 GIS インフラからの情報公開手法の提案, 石崎一隆(北海道地図)
- (D15) 地理空間情報活用推進に向けた地理空間情報流通実験コンソーシアム, 薄井智貴, 関本義秀, 金杉洋, 南佳孝, 柴崎亮介(CSIS)